

平成 29 年度 むぎのめ家族会と川西市当局との市政懇談（報告）

日時：平成 29 年 10 月 24 日（火） 13：30～14：30 川西市役所 201 会議室

出席者（敬称略）

川西市（11 名）

- ・ 根津倫哉（健康福祉部長）・岡本浩一（福祉推進室長）・福丸幸紀（障害福祉課長）
- ・ 斎藤絹子（障害福祉課長補佐）・作田哲也（行政経営室長）・大屋敷信彦（市民生活室長）・金淵信一郎（生活活性室長）・阿部成史（産業振興課長）・岸 敬三（学校教育室長）・荒木浩（教育相談センター所長）

司会：山口順子（生活相談課長）

むぎのめ家族会（代表 10 名）

寺田隆夫（会長）・田中富雄（副会長） 他 8 名

<要望書の回答>

	要 望 事 項	回 答（要約）
1	<p>（地域の精神医療に関する要望）</p> <p>「川西市立総合医療センター構想案」に於いて、新病院には精神科の設置及びそれに併設し、精神科に対応できる訪問介護、デイケアの確保をお願いします。</p>	<p>精神疾患は 5 大疾患の 1 つと認識しています。計画の中の新病院は原案の段階ですが精神科の設置につきましては、関係者と相談しながら進めているところです。</p> <p>現在、阪神北圏域の単位で医療計画の整備が見直されています。新病院は、いわゆる高度急性期病院として新経営形態への変更案で、中身につきましては要望内容とは少し違うところもあって難しい状況ですがどこまで皆さんのご要望に近づけていくかが課題です。</p> <p>市としましては、平成 33 年度開業の予定で計画を進めており、できるだけ多くの声に応えられるよう鋭意検討していますので宜しくお願いします。</p>
2	<p>（障害種別間の福祉サービスの格差是正に関する要望）</p> <p>精神障がい者も身体、知的障がい者と同等の交通運賃の割引制度を適用してもらえよう全国の家族会が国会へ請願活動を展開しています。</p> <p>川西市でも阪急電車、阪急バス、能勢電鉄などへ働きかけをお願いします。</p>	<p>障害者に対する公共交通機関の運賃割引に関しましては法令等の定めがありませんので、関係事業者の判断で実施されているのが実情です。</p> <p>精神障がい者にも障害者手帳に写真が添付されて本人確認ができるように改められたことから、厚労省では事業者との標準約款で身体障害者と同様に精神障害者にも適用されるよう、この約款に追加されたところです。</p> <p>市としましても、平成 28 年度には、近畿ブロック都市の協議会を通して厚労省に対して、精神障害者福祉手帳をお持ちのかたには障害者割引が適用されるよう要望しております。今後も引き続き働きかけをしていくよう考えているところです。</p>

3	<p>(就労に関する要望) 障害者雇用促進法が改正され来年4月に施行されます。精神障がい者も雇用率算定の対象になっています。市及びその関係事業所で精神障がい者の雇用をお願いするとともに他への就労機会の拡大を働きかけてください。</p>	<p>平成28年度の厚生労働省の資料によりますとハローワークを通して各事業所の障がい者の雇用率を公表しており、精神障がい者の労働環境の整備が図られています。</p> <p>川西市の法定雇用率は2.49%になっております。この中には精神障害者の雇用も含んでおります。現在、市内の事業所向けに「川西労政ニュース」を年2回発行しておりますがその中で28年2月に改正施行された障害者雇用促進法の趣旨と事業者に対して知っていただく事項を掲載して商工会の事業所などにも配布し、ホームページ等を通して周知を図っております。来年2月の新紙面にも掲載して、今後とも身体障がい者だけでなく、精神障がい者の雇用にもつながるよう周知等に努めてまいります。</p>
4	<p>(啓発、教育に関する要望) 思春期の精神疾患の早期発見、早期対応は重要と考えます。 昨年、中、高校生への心の健康についての教育、教職員への研修などの実施について要望させていただきました。 関係機関と協働し充実させていくとの回答を頂きましたが現在の状況について教えてください。</p>	<p>学校の中では、子どもたちの学級担任をはじめ直接関わる先生との信頼関係を深め、気軽に相談できる環境作りを進めています。</p> <p>しかしながら、子どもたちは容易に打ち解けて話しを持ち込み難いこともあるので、スクールカウンセラー、養護教諭、特別支援担当教員などを通して子どもの心のサインをキャッチできる体制の充実を図っているところです。</p> <p>このようにして早期発見、早期対応を進めながら関係機関として「兵庫こころの医療センター」の専門医との連携とか、福祉事務所やこども家庭センターとも定期的に情報交換や個々の情報を共有できるように努めています。</p> <p>また、保健体育の授業では「こころの健康」という題材の中で取り組んでいます。</p> <p>教職員の研修につきましては、市の特別支援教育研修会や県の研修会で一般的な精神疾患についても研修を深めています。</p>

<その他の問題について懇談>

- 川西市には、精神障がい者に対する訪問看護やデイケアなどの整った病院がないので大阪や近隣の医療機関や施設にかかっている現状があります。
 新設の病院にはリハビリの観点から是非ともこのようなサービスの提供ができるようお願いします（病院のサービス機関としての施設）
 ※（川西、宝塚、伊丹の各市を含む阪神北圏域を単位とした具体案は厳しい）
- 公共交通機関の障害者割引は、個々の事業者の判断によるというのが現状です。
 ※（川西市としても協力につとめます）
- 三障がい一元化としての障害者雇用率に精神障害者算入の見通しは？
 ※（市としても精神のピアサポーターによる研修、支援を進めています）
- 尼崎市では精神保健の副教材を作っていますが川西市では？
 ※（教職員は個々の症状、病気とその対応などについて勉強会を行っています）
- 川西市から保健所がなくなって不便です。みんな困っています、復活できませんか？
 ※（兵庫県の都合なのでよく分かりませんが制度、財政など様々な問題があって難しいです）